

## 17. LUTS に対する漢方製剤の使用経験

豊見城中央病院、琉球大学医学部  
齋藤 誠一

LUTS に対して漢方薬投与を試みたので、その結果について報告する。

- 1) 過活動膀胱症例に対して2015年の本研究会で抗コリン薬抵抗性の過活動膀胱に有効性が報告された半夏瀉心湯の投与を試みた。投与症例のうちベースラインと投与後に排尿スコアの記録が得られた5例中2例でOABSS 3点以上の改善が認められた。有効症例2例のうち1例は排尿症状に対してタムロシン併用、1例はそれまで効果を示さなかった抗コリン薬に add on して半夏瀉心湯を用いた。
- 2) 夜間頻尿に対しても半夏瀉心湯の投与を試みた。ベースラインと投与後に排尿スコアの記録が得られた3例中3例ともに夜間頻尿スコアの改善が得られなかった。
- 3) 広汎子宮全摘術後の外陰痛（および排尿困難）に対してフォーレ留置で対応されていた症例が紹介された。まずフォーレ留置から間欠的自己導尿に移行した。痛みの原因を探索するため、間質性膀胱炎の可能性も考え、膀胱水圧拡張術を施行したが、点状出血は観察されず間質性膀胱炎の診断には至らなかった。膀胱生検の病理では間質に炎症性細胞浸潤が認められた。2015年の本研究会で間質性膀胱炎による膀胱部痛に対して有効性が報告された附子末を含む漢方薬を投与したところ、外陰痛がほぼ消退し、それまで外来面談時に立位でしか対応できなかったのが、座位が可能になり、附子末を含む漢方薬を継続投与中である。

以上、半夏瀉心湯は過活動膀胱症例については一定の割合で有効性が見られた。また、附子末を含む漢方薬は外陰痛の症例に有効だった。